



かもめぐみだより

令和5年2月24日(金)

津田このみ学園

今年度も残すところあと1か月。子どもたちとかもめぐみで過ごせる日を数えてみると、あと17日。あっという間ですね。残りの1か月どのように過ごしたいか意見を出し合い、子どもたちと計画を立てています。充実した日々を過ごし、たくさん思い出を作りたいと思います。そして自信を持って就学、進級できるよう見守っていきたいと思います。

生活発表会ありがとうございました！

当日は、「がんばってね！」と保護者の方が門で声をかけられる姿が見られました。ドキドキする子どもたちの背中を優しく押してくださりありがとうございました。

「おやゆびひめは、こんなことも言った方がいんじゃない?」「みんなで言おうよ!」など前日までお話の世界に浸り、劇作りが続きまして。当日までの取り組みで、お話の世界を通してさまざまな気持ちを感じ、表現する楽しさを味わったり、それぞれに考え、意見や思いを伝え合い、劇を作っていく面白さを感じたりとたくさんの学びがありました。2月に入り、体調不良による欠席者が続き、当日は、初めて全員がそろいました。子ども達も心から喜んでいました。一人一人が大切な存在であり、子どもたち同士もそれを感じているように思い、とても嬉しかったです。

野ネズミがおやゆびひめを心配するシーン

普段から友達が困っていると「どうしたん?」「大丈夫?」と声をかけ合う姿が見られました。このシーンでみんなだったらどんな声をかける?と話し合ったとき、相手を思いやる気持ちがたくさん出てきました。



ツバメを看病するシーン

普段からごっこ遊びが得意なかもめぐみの子どもたち。赤ちゃんのお世話もとっても優しく上手です。そんな姿が垣間見えるシーンでした。



カエルやコガネムシ、生き物がいっぱい!

夏頃、たくさんの生き物に興味を持ち、観察したり触れたりしました。「コガネムシはきれいな色をしているよ」「カエルは足が強いんだよ」と表現を考える中で自分たちが見たことや調べたことを取り入れていきました。



全員でお花になるシーン

わらべうたで手を繋いで歩いたり、輪になったりして遊んでできました。夏頃までは、相手のペースに合わせて歩くのは難しく、ちぎれたり輪が崩れたりしていました。劇の中では、相手を思いやりながら上手に歩けていましたね。

